

令和2年度沖縄公庫八重山支店の融資実績について

～新型コロナウイルス関連融資により融資件数、金額とも大幅に増加～

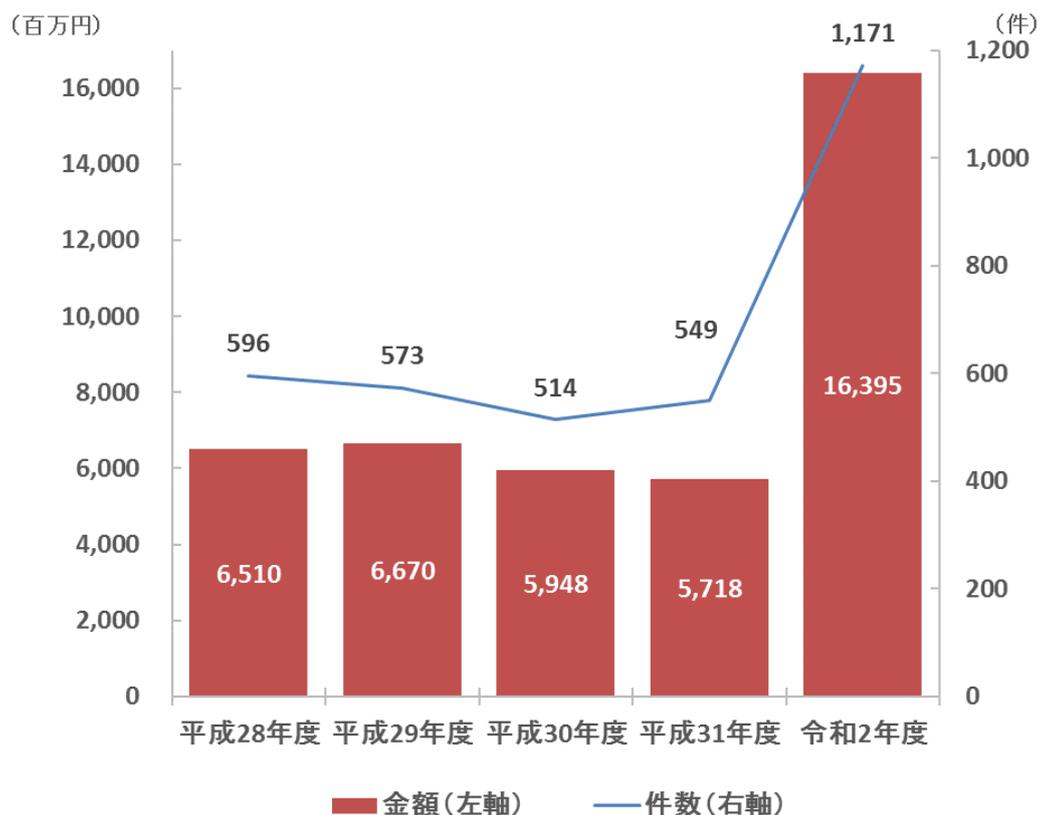
1. 沖縄振興開発金融公庫八重山支店（支店長：前村司）の令和2年度融資実績は、1,171件（対前年度比213.3%）、163億95百万円（同286.7%）となりました。
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者からの申込みにより、融資件数、金額とも大幅に増加しました。【図表1】
2. 資金の用途別では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者から資金繰りのための運転資金需要が多かったことから、例年4割～5割程度で推移している運転資金の金額構成比が9割を超える水準（90.6%）となりました。【図表2】
3. 資金別では、中小企業資金が38件（前年度比115.2%）・38億13百万円（同195.2%）、生業資金が905件（同385.1%）・113億円（同349.1%）、生活衛生資金が23件（同1,150.0%）・2億36百万円（同2,708.0%）、農林漁業資金が48件（同369.2%）・867百万円（同308.4%）と、前年度実績を大幅に上回りました。【図表3】
生業資金のうち、石垣市商工会、竹富町商工会、与那国町商工会が推薦する無担保・無保証のマル経資金（小規模事業者経営改善資金）及び沖経資金（沖縄雇用・経営基盤強化資金）は、合計で55件（前年度比55.0%）・4億6百万円（同41.4%）と前年より減少しましたが、3商工会合計で143件・15億92百万円の新型コロナ関連融資の斡旋がありました。【図表4】
教育資金は、156件（前年度比60%）・1億50百万円（同66.0%）となりました。国の就学支援新制度（授業料減免など）の開始により、需要が減少したものと考えられます。【図表5】
4. 業種別では、「飲食店・宿泊業」、「卸・小売業」、「生活関連サービス・娯楽業」など観光関連産業のほか、「医療・福祉業」、「農林水産業」、「運輸業」、「建設業」などの事業者からの申込みも増加しており、八重山地域全体で幅広い業種が新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることがうかがえます。【図表6】
5. 当公庫は、八重山地域の持続可能な地域社会づくりに向け、今後も商工会等の関係機関や民間金融機関との連携を図りつつ、新型コロナウイルス感染症で影響を受けている事業者等への資金繰り支援の対応を含め、多様な資金ニーズに対応して円滑な資金供給に努め、八重山地域の振興を支援してまいります。

〔問合せ先〕

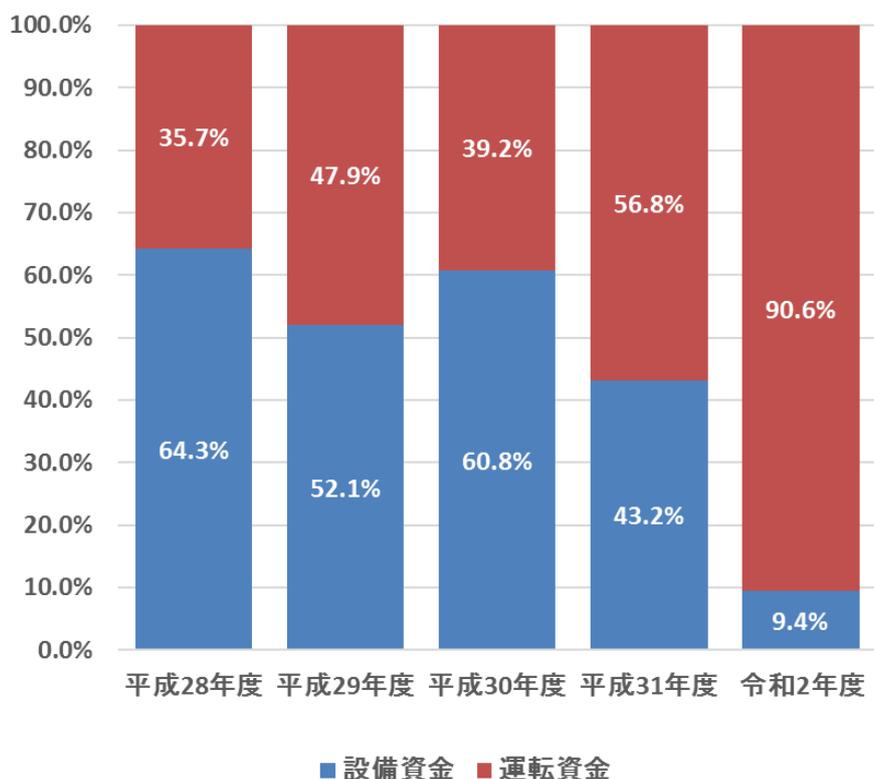
八重山支店（担当：亀谷・喜友名） TEL 0980（82）2701



【 図表1 融資実績の推移 】



【 図表2 設備資金・運転資金の金額構成比の推移 】

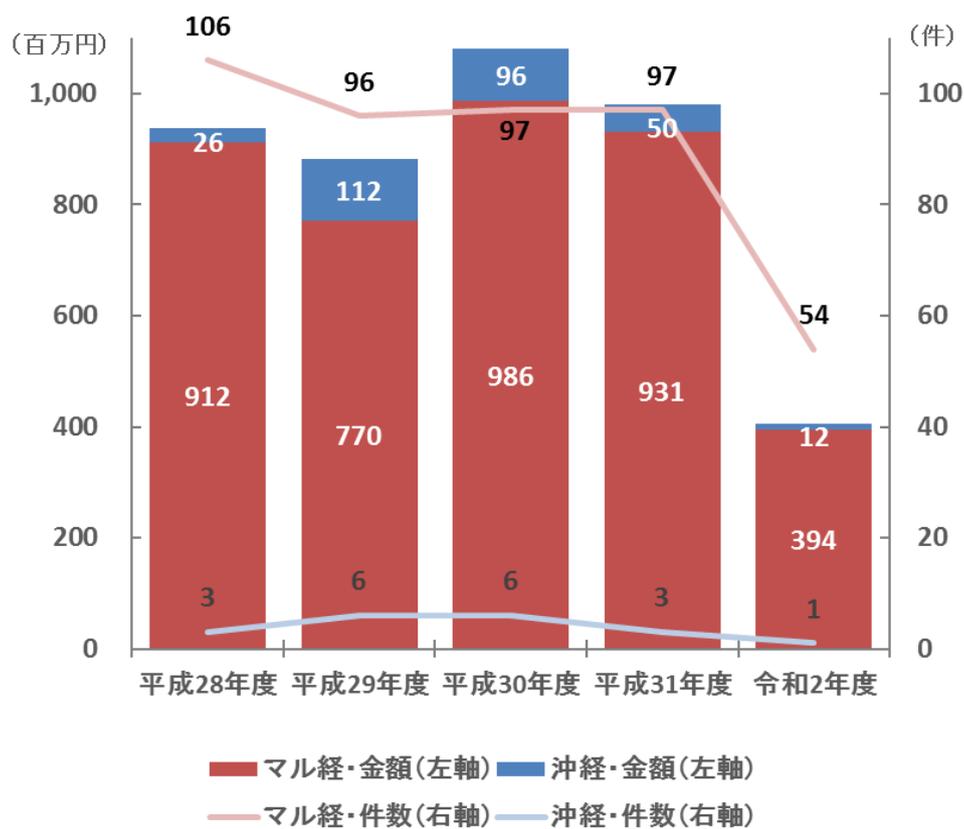


【 図表3 資金別融資金額の推移 】

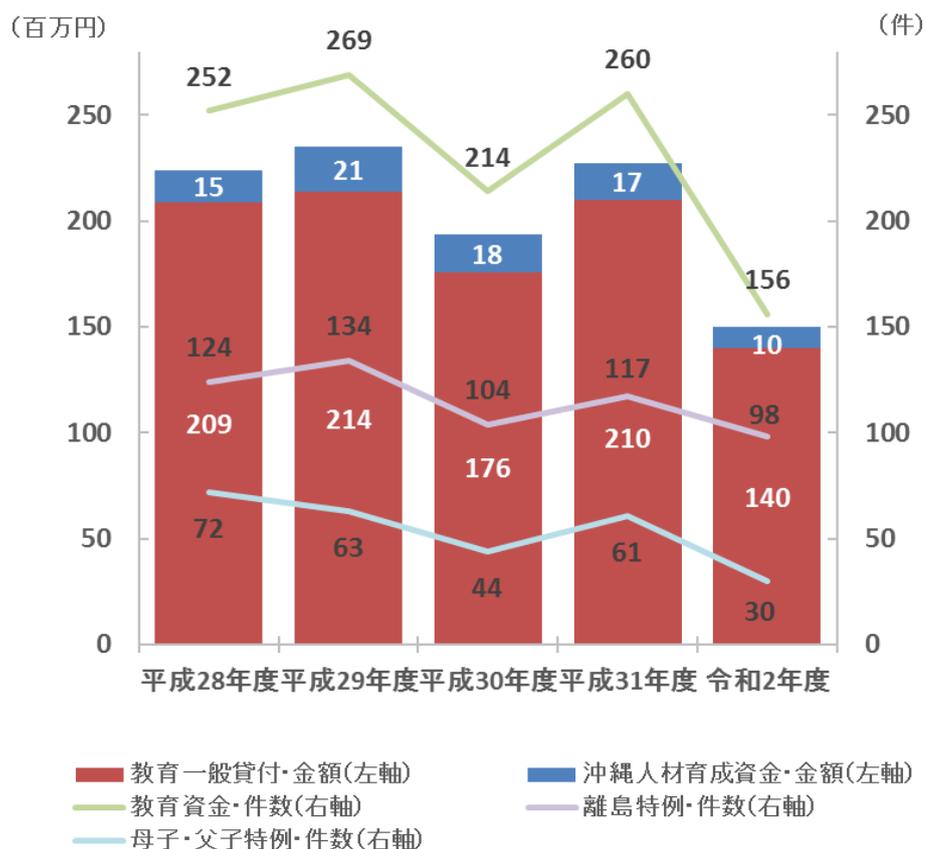
(単位：百万円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
中小企業資金	3,060	3,881	2,801	1,953	3,813
生業資金	2,807	2,263	2,351	3,237	11,300
恩給担保資金	57	58	68	12	0
教育資金	224	235	194	227	150
生活衛生資金	72	113	197	9	236
医療資金	0	0	0	0	30
農林漁業資金	291	120	337	281	867
合計	6,510	6,670	5,948	5,718	16,395

【 図表4 マル経資金・沖経資金の推移 】



【 図表5 教育資金の推移 】



【 図表6 業種別融資金額の推移 】

